

すみだモダン

活動レポート 2022-2023

Sumida Modern Activity Report 2022-2023



こころ、ゆさぶる。

すみだ
モダン

すみだモダンとは

墨田区では、東京スカイツリーの誘致決定をきっかけに、ものづくりのまちとしての産業ブランド力を国内外に広くPRすることを目的として「すみだ地域ブランド戦略」を2009年から開始しました。

主な事業として区内の付加価値の高い商品や飲食店メニューを「すみだモダン」の名称でブランド認証し、数々のPRを行ってきました。

2021年9月からは事業全体の名称を「すみだモダン」としてリニューアルし、「商品そのもの」だけでなく、そのバックグラウンドにある事業者の「活動」も含め、新しい産業プロモーションを推進しています。

「すみだモダン」の主な活動 ACTIVITY

つながる	つくる	つたえる
すみだモダン パートナーシップ連携 [P.4~8]	すみだモダン フラッグシップ商品開発 [P.9~12]	すみだモダン ブランドコミュニケーション展開 [P.13~15]

4つの理念 PHILOSOPHY

「すみだモダン」の定義は「ものづくりを通して、未来のスタンダードを創造し、人々の幸せを育む活動」です。理念は以下の4つとし、これに合致する事業者の活動を「すみだモダン」と呼称します。

<p>1 未来への 約束を果たす</p>  <p>SUSTAINABLE 持続可能性</p>	<p>2 知恵を集めて 新しい価値を創る</p>  <p>CO-CREATION 共創性</p>	<p>3 粋な視点と遊び心を 大切にす</p>  <p>ORIGINALITY 独自性</p>	<p>4 様々な人の 幸せなつながりを育む</p>  <p>DIVERSITY 多様性</p>
---	---	--	--



こころ、ゆさぶる。
すみだ
モダン

こころ、ゆさぶる。
すみだモダン

いまだけではない、100年先のこころよさを。
自分だけではない、より多くの人のよろこびを。
まあたらしい、鮮やかな感動を求めて。
こころ、ゆさぶる。
つくる想いが、心を動かしていく。



「こころ、ゆさぶる。」すみだモダン PRムービー
<https://www.youtube.com/watch?v=jAr5wjiMqq8>

つながる

すみだモダンパートナーシップ連携

事業者同士、そして墨田区がつながり、ともに「ものづくりのまち すみだ」のブランドをPRしていきます。「すみだモダン」の理念の浸透を図り、「すみだモダン」の新たな創出と発掘を目指し、「すみだモダンコミュニティ運営」「すみだモダンブランド認証」という2つの事業を実施しています。

1 すみだモダンコミュニティ運営

誰でも参加できるコミュニティを運営。事業者同士のつながりを生みだし、新たな「すみだモダン」の創出を目指します。「すみだモダンコミュニティ」に参加した事業者は「すみだモダンオープンパートナー」となり、以下の特典やメリットを受けられます。

オープンパートナーの特典・メリット



ものづくりに関わる
イベントに参加できます。

ビジネスマッチングの機会創出
協働による課題の解決
複数事業者によるイベントの共同開催

※事業者間の仲介は事務局がサポート。さまざまな職種の事業者とつながることができます。展示会・講演会・交流会・勉強会等のパートナー限定イベントを開催。

オープンパートナー限定情報に
アクセスできます。

- すみだモダンコミュニティページの閲覧
- メールマガジン「こころ、ゆさぶる。」通信の受信
- すみだモダン公式サイト・インタビュー記事へのコメント投稿

すみだモダンのロゴが入った
PRツールを活用できます。

事務局で作成したチラシやポスター等の各種PRツールを使用可能。オープンパートナーの詳細・登録情報は公式サイトをご覧ください。



詳しくはこちら

つながる

イベントコミュニティ

事業者同士の「つながり」を作ることを目的に、事務局が旗振り役となって講演会やセミナー、ワークショップ等のイベントを開催し、ビジネスマッチングの機会を創出する取り組み。



日時 2023年9月27日午後6時～午後8時
場所 墨田区役所
内容 セミナー「マーケティングリサーチ方法と、その活かし方」
伊藤忠ファッションシステム株式会社 ifs 未来研究所
副所長 山下 徹也氏



日付 第1回2023年10月19日「値上げを付加価値に変える」
第2回2023年11月22日「SDGsで営業力が上がる」
第3回2023年12月15日「BtoBの方が効果的!?!」
場所 墨田区役所
内容 サステナブルな取り組みを経営に活かす方法(全3回)
一般社団法人ソーシャルプロダクト普及推進協会 (APSP)
事務局長 深井 賢一氏

テーマコミュニティ

すみだモダンコミュニティ参加者からテーマを持ち寄ってもらい、コミュニティ参加者同士で共創して新商品・新サービスの開発を目指す取り組み。



テーマ 「世界で一番やさしい革の街づくり」
内容 墨田区で100年以上の歴史を持つ皮革産業の一層の向上を目指した各種コンテンツの創出に協力できるメンバーの集まり(通称:「革童コミュニティ」)。これまでに山口産業株式会社の革工場見学会や工場直売イベント、キックオフパーティーを開催した。

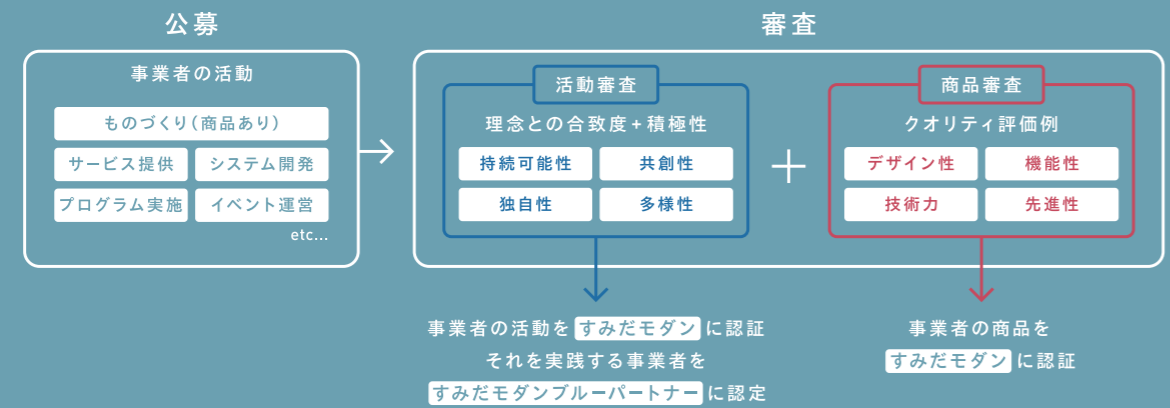


発起人 山口産業株式会社/一般社団法人やさしい革
代表取締役社長 山口 明宏氏
内容 株式会社二宮五郎商店、株式会社大関靴工房、株式会社谷口化学工業所、株式会社コロボス、有限会社マルヨシ、別府鋳工株式会社、株式会社ミノウラ、有限会社セメントプロデュースデザイン
※参加者事業者の中には、皮革産業の後継者だけでなく、繊維業界や鋳物業界といった異業種の事業者も含まれる。

つながる

2 すみだモダンブランド認証

すみだモダンの理念との合致度等を基準に事業者の「活動」をブランド認証します。活動に関連する「商品」がある場合は「活動の審査」とともに「商品審査」を行います。ブランド認証を獲得した事業者は「すみだモダンブルーパートナー」となり、専用のロゴマークを使用できるほか、展示会や各種媒体等で優先的な取り扱いを受けることができます。2023年度は厳正な審査の結果、9つの「活動」と8点の商品・シリーズが認証されました。



独自の発酵技術で未利用資源を活用し、サーキュラーエコノミーを構築する活動

株式会社ファームステーション

「発酵」で循環する社会を。独自の発酵技術で循環型社会を実現するファームステーション。食品廃棄物からエタノールを製造、残った発酵粕を化粧品素材や家畜飼料に活用。さらに農家と組み鶏糞・牛糞を畑の肥料に。「あふれるゴミを活かし、事業性と社会性が両立するビジネスを」という事業目標に食品会社・商社なども賛同。発酵技術で魅力的な商品と循環経済を生み出すことに成功している。

認証商品:オーガニックスキンケアブランド FERMENTATION他2シリーズ



自然環境保護と地域共生社会の実現を目指し、エゾ鹿革の製品を製造する活動

株式会社二宮五郎商店

北海道十勝では農業被害を防ぐために時期を決めてエゾ鹿猟を行っている。肉は料理に活用されるが革の有効利用は進んでいないと聞き、二宮五郎商店はエゾ鹿革の特徴を最大限に活かした革製品の開発に着手。革製品製造で培われた技術とセンスを駆使し、大判革だからできるソムリエエプロン、耐久性と柔らかさを活かしたキッチン革小物などを次々と生み出す。利益は地域にも還元され獣害対策に寄与している。

認証商品:十勝エゾ鹿革シリーズ [ショルダーバッグ他4点]

つながる



まちのデザイン力を向上させる「すみだクリエイターズクラブTシャツ展」の活動
すみだクリエイターズクラブ

すみだクリエイターズクラブにはWEB・映像・グラフィック・プロダクトなど幅広いジャンルのクリエイターが130名以上在籍する。発足は2013年。2018年からは作品紹介と地域の魅力発信のために毎年Tシャツ展を開催している。Tシャツ展以外にも、さまざまな自主イベントや行政・企業・店舗・団体等との連携事業も手がけており、それをきっかけに区外からクリエイターが参入する事例もある。地域への愛とプロの品質「愛と品質。」がコンセプト。



鍮兜の伝承製法とデザインを生かし、日本の伝統文化を身近に感じる製品を製造する活動

株式会社甲人

縁起がよいとされる鍮兜のデザインを暮らしの中へ。鍮兜の製造技術を活かし、さまざまな事業者と連携を図り、サステナブルな素材で日常使いできる商品を製造する甲人。代表は創業明治30年からの5代目で「力石甲人」を襲名する日本唯一の女性甲冑師。端午の節句に飾る鍮兜には日本伝統の美が集約されており、その技術を生かした商品が人びとに歴史へ思いを馳せる機会を創出している。

認証商品:鍮手許 [バッグ | 名刺収め]



自然由来の原料からレザーケア用品を製造し、モノを大切に作る心を育む活動

株式会社谷口化学工業所

日本最古の靴クリームメーカーが、そのノウハウを活かした自然由来のレザーケア用品とお手入れ方法を提案する。シアバター、ミツロウ、エゾ鹿油脂を主原料に、ヒノキやクロブ、レモン、ジンジャーなどの精油を配合したケア用品シリーズ。心地よいお手入れで、ものを大切に長く使う気持ちを育むことをめざす。大人はもちろん子ども向けにも、革のお手入れ方法を学ぶイベントを開催している。

認証商品:自然から作ったシリーズ [靴クリーム他4点]



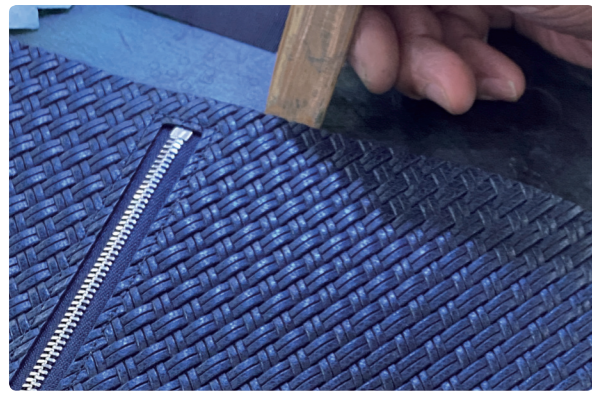
東京手描き友禅の技法と現代技術を活用し、サステナブルな製法でTシャツを製造する活動

キップス株式会社

友禅の緻密な美をデジタルでもっと身近に。着物にヒントを得た直線裁ちのTシャツに描かれた鮮やかな和のアート。最先端のプリンターが高精細な友禅の柄を落とすことなく再現している。手描き友禅の敷居を下げることで、カジュアル化することで伝統を守っていくという試みだ。伝統美を次の時代へつなぎ、世界へと発信していく。創業100年を超える老舗ニットメーカーが放つ伝統と先進のコラボレーション。

認証商品:some-pri Tシャツ [デジタル友禅Tシャツ]

つながる



日本の伝統技法「網代編み」を革製品に表現し、
古来の文化やデザインを現代に伝える活動

株式会社二宮五郎商店

薄く細く加工した竹を縦横に編み込み籠などをつくる網代編み。日本人になじみ深いこの編み目柄を革新的な革製品に。実際は編み込みではなく、精緻な模様を真鍮の金型に施し、熟練職人が仕上げている。編み込みよりも汚れにくく強度が上がるのが特徴。織細で複雑なテクスチャーが、伝統の編み模様を高級感ある意匠に昇華させている。先進の加工法で革製品の持続可能性と独自性を高める活動。

認証商品：アジロ編みグレイシリーズ[ジェントルポストントート他4点]



クリエイティブな発想とサステナブルな製法で、
独自のアパレル製品を製造する活動

株式会社ユー・ディー・ビー

古着や規格外生地のアップサイクル、オンデマンド生産といった持続可能な製法を追求するアパレルプリント会社ユー・ディー・ビー。愛着を感じ長く着てもらうことが大切と考え、余剰生産をできるだけ抑えながら、今までと違うファッションの価値を提案している。区内の福祉施設との連携、北斎画の採用など社会貢献や地域性を取り入れたクリエイティブな発想でユニークなシリーズを展開する。

認証商品：北斎アロハ | サステナブルシャツ | 感覚刺激Tシャツ



独自の研究による製品作りと美術館での展示
を通じて、「和ガラス」の魅力を伝える活動

廣田硝子株式会社

創業120年を超え都内で最も古いガラス食器メーカーである廣田硝子は、日本独自の発展を遂げた和ガラスを未来へ受け継ぐ取り組みを続けている。まねき猫のガラス瓶は、職人がヘラ加工で1点ずつ仕上げるもの。駄菓子屋などで見かけたガラス瓶を昔ながらの手のかかる製法で復刻している。本社内の「すみだ和ガラス館」では貴重な文献やガラス製品が展示され、多くの人が訪れている。

認証商品：懐かしのガラス瓶シリーズ [招き猫 | 地球瓶]

ブランド認証を受けた事業者は
「すみだモダンブルーパートナー」となります。

墨田区では「すみだモダン」のブランド認証を受けた活動を実践する事業者を、共に末永く区内産業・ものづくりブランド力を向上していく「すみだモダンブルーパートナー」として認定しています。



[すみだモダンブルーパートナー専用ロゴ]

つくる

すみだモダンフラッグシップ商品開発

クリエイティブディレクターの統括のもとに、コラボレーターと事業者の共創による商品開発を実施します。「デザイン経営」の考え方を盛り込み、コラボレーターとともにマーケティング・知財等を学ぶワークショップやセミナーに参加後、約3年をかけて商品開発に取り組みます。

2シーズン制を導入した3年間のプロジェクト

参加事業者を公募し、その後、コラボレーターとのマッチングを経て、プロジェクトを決定します。すみだモダンの理念に基づき、その企業の「フラッグシップ」となる商品の開発には、ターゲットとなるマーケットをはじめ、自社の「強み」・「弱み」など、ものづくりにかかわる企業活動について改めて深く考えることが重要です。開始2年目での製品化、3年目での商品化を目標にスタートし、以降は事業者の自走を目指しています。



▲クリエイティブディレクターの廣田尚子氏

4つのアクション

学ぶ

ワークショップを通し自社を見つめ直す

公募により参加事業者を決定し、デザイン経営・商品企画・知財等の各ワークショップにコラボレーターとともに参加いただき、自社について考察します。



起こす

デザイン経営の視点で必要なモノ、コトを導く

コラボレーターによる現場視察、課題の共有等を経て、ともに新商品開発に取り組みたい相手の希望をもとに、マッチングを実施します。



創る

経営者・社員・コラボレーター、“みんなでデザイン”

ワークショップで得た知見をふまえ、商品企画・デザイン・試作等を繰り返し、販路の検討も含め、全員参加型 (co-design) で商品開発を進めています。



続ける

商品が売れることよりも企業経営が続くことを目的に

デザイン経営の視点に立ち、参加事業者が無理のない持続可能な活動ができるよう、見直し・改善を随時行い、自走を目指していきます。



つくる

すみだモダンフラッグシップ商品開発 活動レポート1

●ワークショップ [学ぶ]

2021年度に第1期、2022年度に第2期の区内事業者の公募を行い、デザイン経営・商品企画・知財等のワークショップにコラボレーターとともにご参加いただきました。今年度は次のステップとして、商品化後に必要となる内容について学びました。

プロジェクトの協力者



日付 2023年6月2日
場所 iU情報経営イノベーション専門職大学 墨田キャンパス
内容 講演【SNS発信の苦手払拭！一歩踏み出すためのSNS活用術】
(株式会社オージュ・コンサルティング 代表取締役 大森 渚氏)
※上記ワークショップに限り、「すみだモダンコミュニティ」との共催にて実施した。

日付 2023年6月13日
場所 オンラインにて実施
内容 SNS発信の苦手意識払拭！一歩踏み出すためのSNS活用術～フォローアップセミナー～
(株式会社オージュ・コンサルティング 代表取締役 大森 渚氏)

つくる

すみだモダンフラッグシップ商品開発 活動レポート2

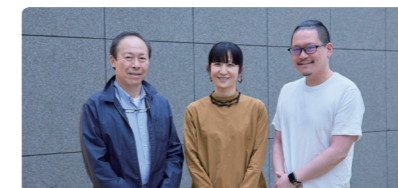
●マッチング [起こす]

2021年度、2022年度にそれぞれ、コラボレーターによる現場視察、課題の共有等を経て、ともに新商品開発に取り組みたい相手の希望をもとに、マッチングを実施しました。今年度は新規の公募は行わず、第1期・第2期の各プロジェクトの商品化支援に注力しました。

○2021年度 [第1期] プロジェクトチーム



○2022年度 [第2期] プロジェクトチーム



○中間発表

第2期のプロジェクトキックオフから約半年が経ったタイミングで、すみだモダン、デザイン経営の考え方を改めて共有しつつ、プロジェクトチームごとに進行状況や課題、今後の展望等について報告しました。
(2023年7月18日 墨田区役所リバーサイドホール会議室にて開催)



つくる

すみだモダンフラッグシップ商品開発 活動レポート 3

●商品開発 [創る]

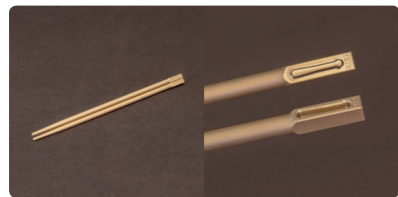
ワークショップで得た知見をふまえ、マッチングの成立した事業者とコラボレーターはチームとなり、商品企画・デザイン・試作等を繰り返し、販路の検討も含め、全員参加型で商品開発を進めていきます。各プロジェクトの進行状況は、随時すみだモダン公式サイトで取材記事として更新しています。

第1期進行プロジェクトの様子



リサイクルガラスのアクセサリ
stagio inc. 大友学氏×廣田硝子

“美しいリサイクルガラス”の事業化という難題に挑戦し、独自の研究を重ねながら、アクセサリの完成をめざしている。



MITATE 町工場のつくる金属の割り箸
リコー総合デザインセンター×石井精工

金属加工技術を駆使し凸凹の「はめ合い」により割り箸を割るパキッと感を再現した。繰り返し使える金属製の割り箸。



Futatsuki
stagio inc. 大友学氏×廣田硝子

市内でも希少な「溶融窯」で職人がつくる“気取らない普段使いの硝子”の第一弾として、フタ付きのカップを完成させた。



人鳥願具(ペンギンがんぐ)
TOTO デザイン本部×芝崎合金鋳造所

廃棄された水道の蛇口等も原料に活用しているペンギンのオブジェ。すみだ水族館の監修も得ながら愛らしい姿を再現。



MORI Bench
KAICHI DESIGN 山田 佳一朗氏×間中木工所

区内公園工事等でやむを得ず伐採した樹木を活用し、柴田コンクリートとの共創によりベンチを製作している。

第2期進行プロジェクトの様子



STUDIO BYCOLOR 秋山かおり氏×片岡屏風店

「屏風の魅力が手に取ってわかるもの」を目標に、節句において屏風が主役となるプロダクトの開発を進めている。



JIN KURAMOTO STUDIO 倉本仁氏×東商ゴム工業

研磨工程で発生する「ゴム研磨粉」を活かした新素材を開発。また特長が一目でわかる自社素材のサンプル帳を制作している。



ココロ ヨハクデザインスタジオ×昌栄工業

金属が平面から立体へと加工される工程の見える化にデザイン面からアプローチし、プロダクトの開発を進めている。

つたえる

すみだモダンブランドコミュニケーション展開

すみだモダンの活動を多様なメディアを通して広く発信し、多くの人々の共感を得ることでファンの獲得を目指します。

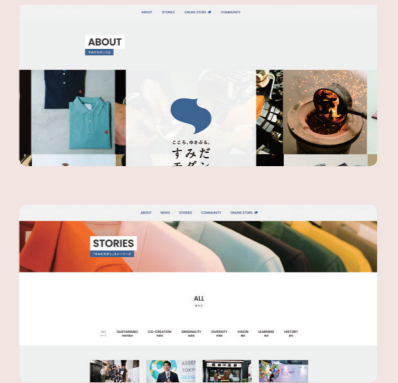
公式サイト

すみだモダンの情報を網羅するメディアを運営



つながる=パートナーシップ連携、つくる=フラッグシップ商品開発、つたえる=コミュニケーション展開という3つの事業を核に深化を続ける地域ブランド「すみだモダン」。そのすべてがわかるホームページです。「STORIES」ではすみだモダンに関する人びとのインタビューやイベント記事を続々と更新中。ものづくりの物語を、持続可能性・共創性・独自性・多様性・構想・育成・歴史という7つの視点から深く知ることができます。ものづくり・まちづくり・未来づくりのヒントが満載のサイトです。

<https://sumida-brand.jp>



オンラインショップ

セレクトECショップ「スタイルストア」との連携



スタイルストアは、その道のプロが目利きした商品やモノのつくり手がこだわりぬいたアイテムを販売するオンラインショッピングサイト。「すみだモダン」公式ページでは、厳選されたすみだモダンの認証商品や開発商品が掲載されているほか、すみだのものづくり事業者とスタイルストアのコラボ商品も展開。商品の詳細だけでなく、つくり手の思い、行っている活動など、ものづくりのバックストーリーも発信しています。

<https://stylestore.jp/s/sumidamodern>



書籍「すみだモダン 手仕事から宇宙まで “最先端の下町” のつくり方。」



まちおこし、地域活性として全国の市町村でさまざまな事業が行われる時代。その手本として、全国から視察が絶えない東京墨田区の取り組みを徹底解剖した一冊。墨田区は職人たちが受け継いできたものづくりの情熱と技術を時代に寄りそう形で再編集し発信してきました。本書には10年を越える地域ブランド戦略「すみだモダン」の歩み、江戸から続く職人技と世界をリードする製造業が渾然一体となる墨田区の魅力が凝縮されています。

編集：墨田区産業観光部産業振興課 | 発行：ハースト婦人画報社 | 定価：3,300円(税込)



つたえる

催事実績

「すみだモダン」を広めるため、区内外でさまざまなイベントを開催しています。



煌めく夏に和の風物詩
すみだモダンPOPUP
2023年7月～8月 | GOOD DESIGN STORE TOKYO by NOHARA



すみだモダンの夏休み | 東京都(イーストキョー)、
本物のものづくりにふれる夏
2023年8月 | 代官山葛屋書店 建築・デザインフロア



エシカル & すみだモダンのものづくり
- 鹿革ジャンパーができるまで -
2023年8月 | 代官山葛屋書店 建築・デザインフロア



技とアイデアでつながる! ニシとヒガシのものづくり
- 大阪製ブランド×すみだモダン in ハンズ -
2023年9月 | ハンズ心斎橋店10階/ハンズ東京店9階



- 共創のチカラ、みんなでデザイン! -
すみだモダンフラッグシップ商品開発POP UP
2024年3月 | GOOD DESIGN STORE TOKYO by NOHARA



すみだモダンブランド認証展2023
2024年3月 | coto mono michi at TOKYO

つたえる

展示実績

「すみだモダン」を広めるため、区内外でさまざまな展示会に出展しています。



2022ブランド認証展
2023年7月 | 墨田区役所1階アトリウム



すみだモダン商品の展示
2023年9月 | 港区産業振興センター展示スペース



NEW ENERGY TOKYO
2023年9月 | 新宿住友ビル三角広場



世界デザイン会議東京2023
2023年10月 | 千葉大学墨田サテライトキャンパス



CoCoJAPAN
2023年10月 | 神谷町トラストタワー2階



台東区産業フェア2023
2023年11月 | 都立産業貿易センター台東館



ひがしんビジネスフェア2023
2023年11月 | 両国国技館



ユニークベニューショーケース
2024年2月 | 両国国技館・すみだ水族館

すみだ地域ブランド推進協議会 理事会

理事長	水野 誠一	(株) IMA 代表取締役
副理事長	田中 一雄	(株) GKデザイン機構 代表取締役社長
理事	廣田 尚子	(有) ヒロタデザインスタジオ 代表取締役
	郡司 剛英	墨田区産業観光部 部長
監事	中田 清史	東京東信用金庫 理事長

すみだモダンブランド認証審査会

審査委員長	田中 一雄	(株) GKデザイン機構 代表取締役社長
審査委員	水野 誠一	(株) IMA 代表取締役
	廣田 尚子	(有) ヒロタデザインスタジオ 代表取締役
	中田 清史	東京東信用金庫 理事長
	高橋 正実	MASAMI DESIGN 代表取締役
	坂口 真生	GENERATION TIME (株) 代表取締役
	植田 憲	国立大学法人千葉大学 教授/デザイン・ リサーチ・インスティテュート センター長
	郡司 剛英	墨田区産業観光部 部長

お問い合わせ先：「すみだ地域ブランド推進協議会」事務局

墨田区産業観光部産業振興課内

TEL: 03-5608-6188 | FAX: 03-5608-6934

MAIL: BRAND@city.sumida.lg.jp

HP: sumida-brand.jp | INSTAGRAM: @sumida_modern

